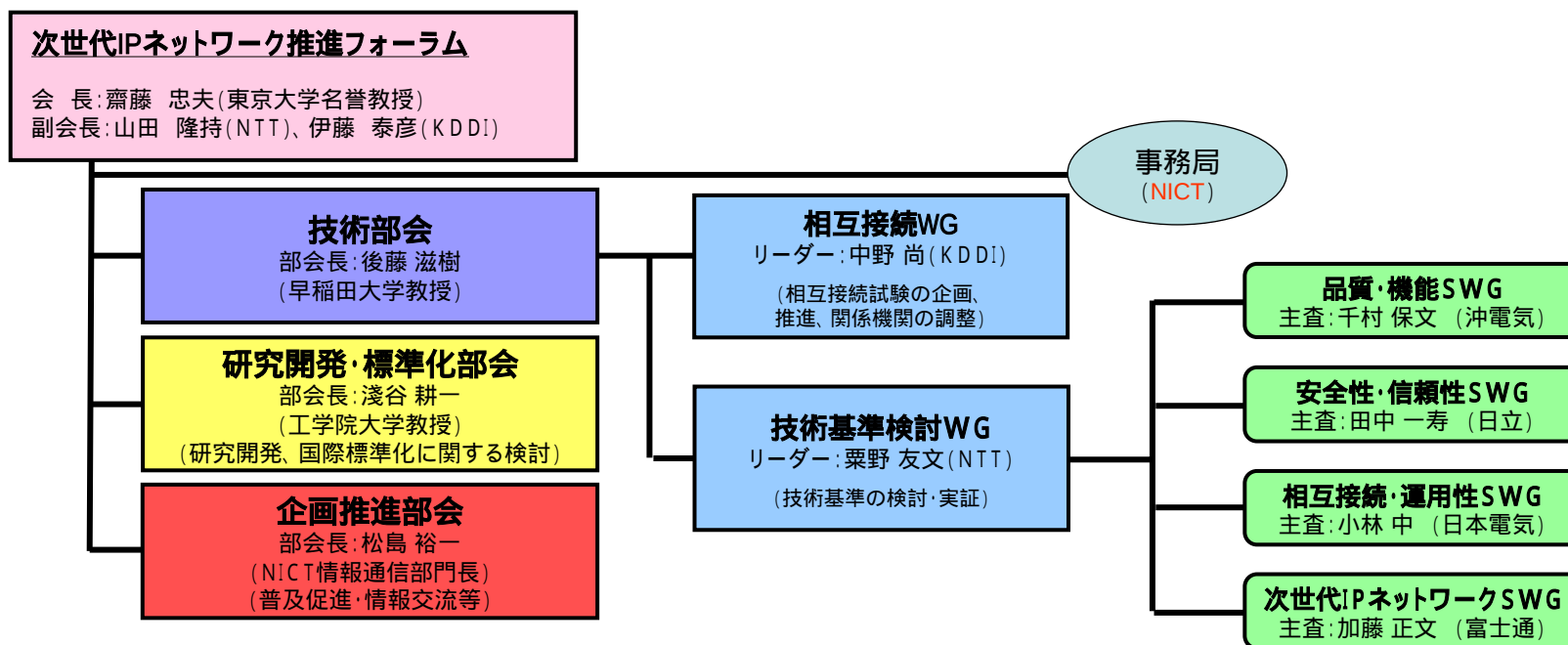


技術基準検討WGの検討事項

- 情報通信審議会IPネットワーク設備委員会からインプットされる検討課題について、検討の優先順位付け、WG傘下の各SWGへの割付、スケジュール等を検討する。
- 当初はIP電話(0AB～J、050)を中心に検討を進める。
- その他の高機能サービス(TV電話、映像配信、高品質音声通信への拡張 等)は、次世代IPネットワークSWGにおいて課題整理を進める。
- 個々の検討課題について、必要に応じて実証実験を実施することにより、各SWGを中心に技術的条件を検討する。

組織図



(参考) 相互接続WGの検討事項

- 次世代IPネットワークに関する相互接続試験の企画、推進、関係機関の調整
 - 次世代IPネットワークの相互接続試験の実施計画作成・実施体制の検討
 - 相互接続試験のために必要な関係団体等との連携、各種調整

品質・機能SWGの検討課題

- 当面は既存電話系サービス(FAX、モデム通信を含む)を中心に検討を進める。

検 討 項 目		検 討 課 題
主に、既存電話系サービスの継承のための品質規定・機能要件	音声品質	既存電話系サービスの品質規定と評価方法 1. サービスごとの品質基準 (電話音声、FAX、モデム通信、広帯域音声等) 2. ネットワークとユーザ設備の品質配分 3. 品質制御のための機能要件 4. 品質の評価方法(事前、運用中) 品質基準は通話品質だけでなく、接続品質についても議論する。
	付加機能・サービス	1. 基本サービスモデルの規定 2. 既存電話系サービスの継承性 3. ユニバーサルサービス性の確保 4. 付加サービスの継承性→どこまでを義務として求めるべきか？

映像系などの新しいサービスの品質・機能についての検討は、「次世代IPネットワークSWG」におけるモデル検討の結果を受けて検討を実施。

< 検討の進め方・スケジュール >

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
 Stage1 課題の抽出 (課題を洗い出す) Stage2 検討モデルの策定 (Outputの項目を決める)				 Stage3 技術基準案の検討 (標準化動向などを踏まえ、基準案を明確にする)				 Stage4 次期課題の検討			

- ・テーマが品質と機能で膨大なため、それぞれ作業グループを設けて検討を進めることとする。

品質作業グループ: 電話サービスを中心に品質基準・評価法を検討

機能作業グループ: 既存電話系サービスの継承性、ネットワーク・端末に必要な機能を検討

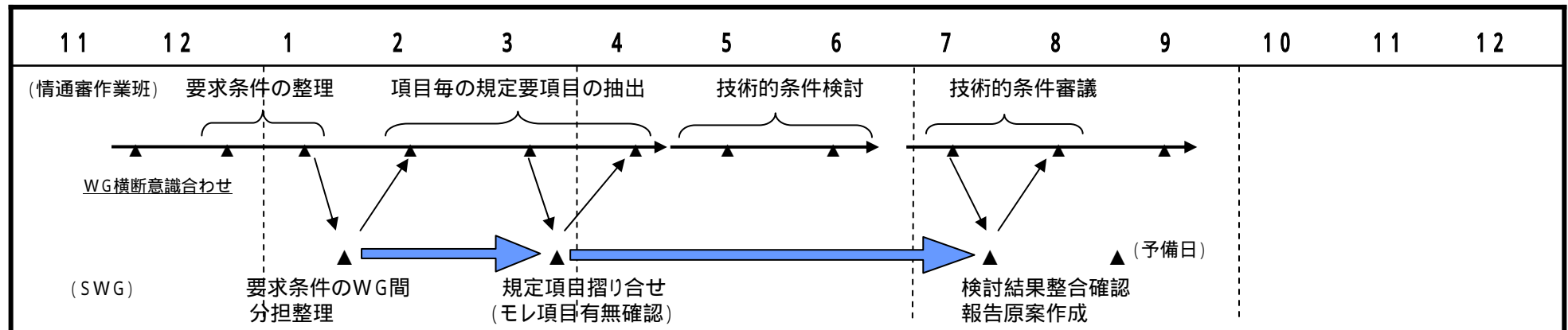
安全・信頼性SWGの検討課題

- 音声通信サービス / 非音声通信サービスに議論を分け、音声通信サービスについては、PSTNからの継承を主眼とする。

検 討 項 目	検 討 課 題
サイバー攻撃等に係る安全性・信頼性の確保	1. DoS攻撃、なりすましへの対応 2. ネットワーク / 端末間の機能分担 3. 迷惑電話防止、輻輳対策などのネットワークや端末側で備えるべき機能 4. その他の対策
設備障害等に係る安全性・信頼性の確保	1. 設備障害時における対策 (障害箇所の特定・切り離し、機器の分散化、無瞬断切替 等) 2. 端末の停電対策
災害時等における通信の確保	1. IPネットワーク相互間での通信の優先取扱いに関する条件 2. 緊急通報機能とその高度化に関する条件 3. その他の対策

非音声通信サービスについては、「情報通信審議会IPネットワーク設備委員会」や「次世代IPネットワークSWG」での議論を踏まえる。
 「情報通信ネットワーク安全・信頼性基準」等、関連制度に定める項目毎に、検討の要否や不足の有無を議論し、検討ポイントを抽出する。

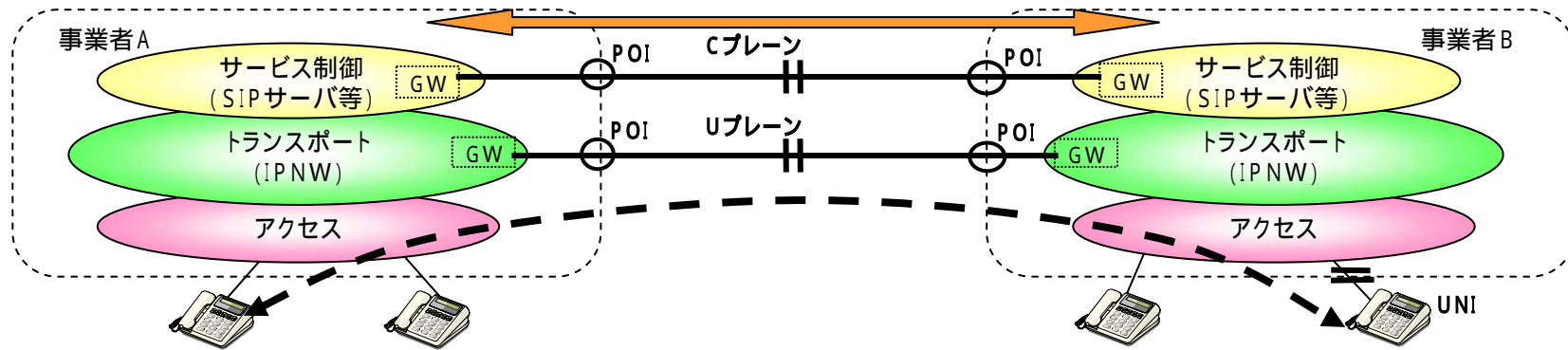
<スケジュール>



・「情報通信ネットワーク安全・信頼性基準(昭和62年郵政省告示第73号)」での分類を参考にして議論

相互接続・運用性S W Gの検討課題

- ネットワークモデルと相互接続に関する規定事項及びその規定位置を各S W Gが共有した上で検討を進める。



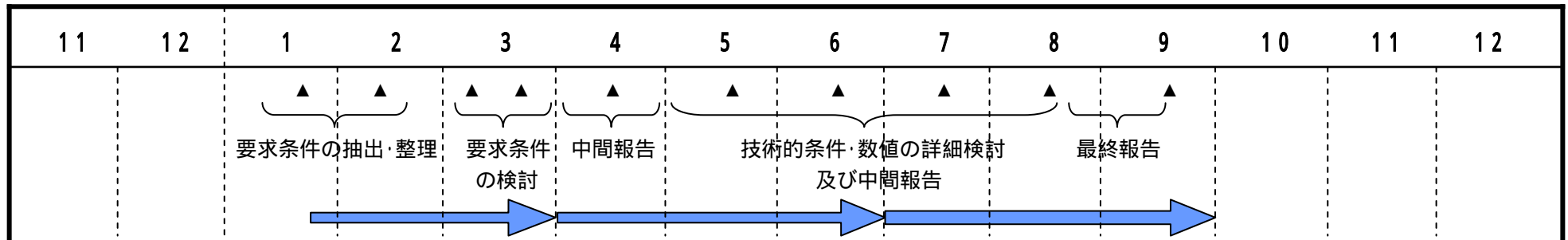
検 討 項 目		検 討 課 題
Cプレーンインタフェース	音声品質	・低位レイヤのインタフェース規定 ・呼制御プロトコル規定(各種パラメータ規定を含む)
	番号方式	・事業者毎に割り当てられた番号計画に基づいて付与された番号
サービス制御機能	信号終端 / 接続処理	・自網内信号とインタフェース間の差分吸収(主に独自パラメータの変換 / 削除)によるインタワーク ・番号に基づく接続先識別 / 接続出方路の判定とルーティング処理、接続品質規定内での処理
	課金処理	・発 / 着別、加入者種別等に基づく課金(ユーザ課金) ・課金データの事業者間転送
	セキュリティ確保	・不正利用、不正アクセス(成りすまし) / SIP脆弱性攻撃防止 ・自網からの流出防止と、他網からの流入防止の双方の対策が必要
Uプレーンインタフェース	回線インタフェース	・低位レイヤ～IPまでの各階層のインタフェース規定
	符号則・ベアラ規定	・音声符号として採用する基準 ・事業者間においてサポートするベアラ種別
トランスポート(IPNW)機能	転送処理	・自網内インタフェースとUプレーンインタフェースの差分吸収と網間パケット転送処理 ・通話品質規定内での転送処理
	試験処理	・回線開通 / 障害切り分け等各種試験の実施
	セキュリティ確保	・ウィルス / ワーム等の流入 / 流出の防止 ・盗聴 / RTP偽装の防止等

相互接続・運用性SWGの検討課題

検討項目		検討課題
運用 / 課金	輻輳制御	・輻輳発生時の事業者間での規制 ・入接続 / 出接続双方の規制が必要 ・優先呼 / 重要呼識別と規制レベルに応じた処理 ・自網の輻輳状態(レベル)の他網への通知
	課金方式	・事業者間接続時の課金原則 ・事業者間の課金精算方式
	障害処理	・障害時の回線切替や迂回処理 ・障害の事業者間通知
電話サービス規定	サービス範囲	・提供すべき必須サービス範囲(1XYサポートなど) ・オプションとして提供されるサービス範囲 ・IPネットワーク相互間の優先取扱い及び緊急通報において必要となる技術的事項
	品質規定	・End to Endでの品質規定(接続品質、通話品質)
端末条件	インタフェース規定	・ネットワーク端末間のインタフェース規定
	機能・品質規定	・サービス提供のための端末側機能条件 ・品質上必要となる端末への機能要求 / 品質配分

< 検討の進め方・スケジュール >

- ・相互接続における基準自体は品質・機能SWG及び安全・信頼性SWGで議論し、相互接続実行上の手順(プロトコル)、運用則については本SWGで整理。
- ・各SWG間で、以下の事項について共有する
 - ・検討モデル
 - ・検討項目(規定すべき項目)
 - ・進捗状況



次世代IPネットワークSWGの検討課題

- 将来のネットワークが提供すべき価値やユーザ訴求点を明確化しながら、高機能サービス(IP放送、FMCなど)、必要となる機能や技術基準を整理し、既存の基準・技術基準で不十分な点を洗い出す。また、他SWGにおける高機能サービスの技術基準検討がスムーズに進められるよう、検討ベースとなりうるネットワークのモデル化などを切り出す。

検 討 項 目	検 討 課 題
次世代ネットワークの価値	次世代ネットワークが提供する価値(安全な情報交換の場、収集情報提供、ワンXXなど)やユーザ訴求点の明確化などハイレベルの目的を再整理する。
ネットワークモデル	多様なビジネスの形態がとりうるようなモデルとオープン参照点の明確化(NGNアーキをベースに)
サービスと機能	1. 提供していく高機能サービスの選択と検討(IP放送、FMCなど) 2. 価値、高機能サービスを実現する上で必要となる機能の洗い出し
技術要件整理	1. 要求条件(性能条件、接続品質、セキュリティなど)の検討 2. 必要な技術基準抽出

<スケジュール>

